

2倍化反対勝たねば困る

7183-20

う。誰もが喜んでいたの

毎月便りつくり

め「自立自助」を強制しておもつた。

低年金で蓄えもない。このような人はたくさんいます。

今政府は「これが

このまま行けば、お
金のある人しかまとも
な医療が受けられなく
なり、大企業と一部株

保田連副会長



守ろう
くらし

2022参院選

80代男性の患者さんは、毎年風にならない中で生きをする。初めは原因が分からなかつた。何度か話をすり、「腰筋代が痛いから」と「腰筋風機から使わないと困る。腰をあげ、床から起きたら、わざわざ起きる気で腰

ます、人々の生活を
知っているのかとい
う。たゞ、
2倍化の対象となる
の年、單身で年収20
0万円以上、複数世帯
で年収320万円
以上です。税金や社
会保険料、家賃などを
引いて、最低限の生活
をするのがやつじで
す。

患者と向き合ってきた難病専門医療機関（大阪市立）の根本英樹さん（全国医師連盟本部会員制度委員会）が「政府は国民の健康の担い手を認めるべき」と怒りを露わにします。（第三回）

国民塗炭の苦しみ 知らぬ政府に怒り

なつのことでした。湿度やせが出ていたのです。

低年金で蓄えもない。このままいけば、おじいちゃんはたしかまじめの医療を受けられなくなります。

先日も80代の患者さんが「これだけ働いてきて、なにも残してこない」と嘆いていました。旅行をしたり、も行なう。ただ家にじわじわ飯を食べるだけ。とにかく、旅館を土ひき、社会保険料を削るでしょう。

私は費用、便りをつけて患者さんと手渡します。中身は、憲法、カジハ、社会保障などなり。財政権が、軍事費2倍を細々話は、怒りで盛り上がりまます。中身は、絶対に漏れません。年間(2000年4月~14年3月)歳額をせまします。

2002年法律成立後も、財政の力で6年間、70~74歳の窓口負担を減らす。今回もまだ止まりません。

そんなんやうといからね」と換算をさげた患者さんたちの生活を知り、私も怒りを共有してしまいます。

半世紀、社会保険制度は、医療改悪の姿勢を堅持しました。新自由主義路線は、医療を田舎へと逃げさせ、病院の統路をもわわなれば困ります。

毎月便りつくり

今、政府は「これだけ国庫が辛抱であるのか」と腰野を試して、おとなしくしてこれまで、もうと医療費負担を上げ、社会保険料を増やします。国民の生活の苦しみは一題だにしない政策です。

しかし、懲罰はしてしません。「社会は絶対に漏れると」いう確信を持っています。国民政策です。